

おはようございます。

明日の卒業式では、みなさんの素晴らしい姿をこの目に焼き付けたいと思います。それぞれが、その学年らしくしっかりした姿を地域の方々や、お客さんに見せてください。

1年生は2年生になりますね。4月には、新しい1年生が入ってきます。1年前を思い出してください。ドキドキだったでしょう？きっと、新しい1年生もドキドキで入学してくると思いますよ。お世話の方、よろしく願いますね。

2年生は、3年生という中学年になります。低学年の1・2年生をリードすることが増えると思います。よろしく願いますよ。

生活科がなくなって、理科と社会の勉強が始まりますよ。楽しみですか？理科の実験や観察が増えますし、学校の外に出て行って世の中の仕組みを勉強することも増えます。大丈夫ですか？

3年生は、4年生になります。いよいよ部活動も本格的になってきます。5・6年生と協力して学校をリードする機会が増えます。よろしく願いますよ。

4年生は、5年生になり、いよいよ高学年の仲間入りです。いろんな場面で6年生のフォローをしていかなければなりません。集団宿泊教室もあります。水俣の環境学習もあります。登校班では班長になる人が増えると思います。がんばってくださいね。

5年生は、いよいよ最上級生です。心構えはできていますか？児童会活動でも、先生に言われて初めてするということではいけません。自主・自律の精神で進んで行動するようにならないと、最上級生とは言えませんよ。大丈夫ですか？

さあ、卒業生。明日は主役の一日ですよ。しっかり願います。卒業生のみなさんには、明日、大きなメッセージを送りますので、ここでは言いません。

みなさんそれぞれが、この1年を締めくくって次の学年につないでいくことを願っています。

さて、阿蘇ではもう野焼きが終わりました。野焼きというのは、草原を焼いて、次の新しい芽を育てるために行うのです。野焼きについては、校長先生はこんな経験があります。

野焼きの終わったばかりの草原を通りがかったとき、そこにあった立木が燃えていました。校長先生は、それを見たとき、

「いくら野焼きが必要とはいえ、立木も燃やしてしまうなんて。」
と、思いました。

ちょっと、納得いかなかったのですね。野焼きでは、害虫や枯れ草を燃やしてしまい、それが次の新芽の養分になって、春には緑の絨毯のようになる、世界にもまれな美しい草原になるということは知っていました。

だからといって、木を燃やすなんて・・・とも思いました。そして、その木もだめになってしまうのだなと思いました。

その数週間後にそこを通ったときに、びっくりしました。当然、地面には新芽が出て、緑が広がっていました。それだけではなく、燃えていたあの立木も新芽を出して、たくましく伸びようとしていたのです。

自然のたくましさというか、生命力というか、圧倒される気持ちになりました。

さて、みなさんもこの一年は、野焼きのように辛いことや苦しいことがあったと思います。それは部活動であったり、勉強であったり、友だちとの関係であったり、おうちでの出来事であったりと様々だったことでしょう。

なんとと言っても、熊本地震でしょう。4月にも聞きましたが、車の中で何日も過ごした人もいましたね。校長先生もそうでしたが、体も心もきつかったですね。でも、

やっぱり、そんな苦しいことを経験してそれを乗り切っていないと、逞しくはなれません。平成28年度の経験を生かして、平成29年度へつないでください。

つまり、それぞれ進級・卒業するにあたり新しい学年へしっかり気持ちをつないでください。この春休みは、そのつなぎの時期です。

ボーとして過ごしていたら、何のための一年だったか分からなくなりますよ。竹は薄いけど、節目だけはしっかりしています。節目がしっかりしていれば、どんな重いものでも支えます。

同じように、この節目である春休みを充実したつなぎの時期にしてください。

1年間よく感張りました。これで終わります。